

研究課題名	子宮内膜細胞診における microRNA 測定の有用性に関する検討
研究期間	実施許可日 ~ 2030年12月31日
研究の対象	2015年1月1日 ~ 2029年12月1日の間に、広島大学病院産科婦人科（および病理診断科）で子宮内膜細胞診検査を受けられた患者さん
研究の目的・方法	現在、子宮内膜細胞診の判定では、目視によるパパニコロウ染色で良悪性の鑑別が行われています。それのみでは鑑別困難となる細胞像があり、その場合には検査を繰り返す必要があります。子宮内膜の検査は痛みや出血を伴うため、患者さんの負担となります。子宮内膜細胞における microRNA の発現の変化を調べることにより、良悪性の鑑別に有用であることが分かると、診断の精度向上につながります。それにより、患者さんには検査を繰り返す負担を減らすメリットも得られます。以上のことからこの研究を計画しました。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：診療録（年齢、性別、体格、合併症など） 試料：子宮内膜細胞診検体
外部への試料・情報の提供	ありません
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院 産科婦人科 助教 野坂 豪
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 産科婦人科

担当者： 野坂豪

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5262